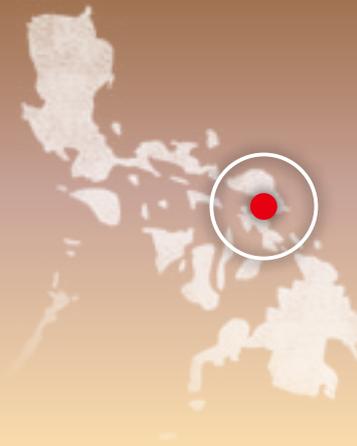


And this hope will never disappoint...
Romans 5:5



HOPE PHILIPPINES for LIVING



PROJECT REPORT
プロジェクト・レポート

Nov 8th 2013 to Jan 2015

一致が人々の人生に 大きな変化をもたらしました



親愛なるキリストの友へ

ホープ・フォー・リビング フィリピンを心から喜んでいます。第一に神様がこの宣教の働きを用いられたことに感謝しています。必要としている子どもたちに神のみことばを伝え、さらに身体的な必要も満たす、という特権が与えられました。マンガ聖書、またこのプロジェクトのあらゆる奉仕を通してもたらされた証しを聞くたびに、私たちの心は動かされます。最終的にどれほど大きな影響を子どもたちの人生にもたらしたかは、天に至ればわかるでしょう。

第二に、この重要なプロジェクトを実現するために必要なお祈りと献金をおさげくださった皆様のご協力に感謝しています。皆様のご協力がなければプロジェクトは実行できませんでした。また、この報告書に書かれている素晴らしい証しを分かち合うこともなかったでしょう。共に、私たちは援助を必要としていたフィリピンの兄弟姉妹の人生に大きな変化をもたらしました。心を込めて皆様に感謝を申し上げます。

主にありて

2015年4月

A handwritten signature in black ink that reads "Roald Lidal". The signature is written in a cursive, flowing style.

新生宣教団チェアマン ロアルド・リーダル

祝福することが いかに祝福か



主の御名を誉め讃えます

ホープ・フォー・リビング フィリピンをこのレポートで皆様にご報告でき幸いです。このプロジェクトの目的は被害を受けた教会が周辺のコミュニティーに伝道をするための援助でした。しかし、予想を上回る結果をご報告できることに感謝しています。

新生宣教団は30カ所のタクロバンの教会において、10週間にわたり、毎週およそ2,400人の子どもたちに食事と、マンガ聖書を中心とした学びを提供しました。またクリスマスには聖書を子どもたちへプレゼントしました。

この働きによって、復興中の30カ所の教会は周辺のコミュニティーに伝道することができ、祝福が与えられました。また、送られた聖書や福音文書は災害で失われたものの代わりとなりました。

このレポートにあるタクロバンの教会の救いと励ましの証しは素晴らしく、このプログラムの上に神様の導きと祝福がもたらされたことに感謝しています。子どもたちとその家族、また彼らに仕えた教会がこれからも祝福され、主イエス・キリストにある癒やしと強さが与えられるよう祈っています。

岩岡 稔一

新生宣教団総主事 岩岡稔一



Republic of the Philippines
Tacloban City
Office of the City Mayor

February 26, 2015

TOSHIKAZU IWAOKA
CEO
New Life Ministries
Japan

Dear Mr. Iwaoaka,

On behalf of the City of Tacloban, I would like to thank you for the support of New Life Ministries in the highly successful completion of the HOPE FOR LIVING Philippines project. This ambitious project has provided a great help to the children, churches, and local communities of Tacloban in their recovery.

During the 10-week program, 30 churches provided a hot meal to a few thousand children, demonstrating that they were not forgotten and somebody truly cares about them. The project also supplied manga booklets, study guides, and Bibles to support community engagement and discipleship.

As a result, these recovering churches reached out to their communities and were provided with printed materials to replace what was lost in Typhoon Yolanda.

With great pleasure, I congratulate New Life Ministries on a job well done, thank them for their generosity and look forward to the people of Tacloban.

Sincerely,

Hon. Alfredo S. Romualdez
City Mayor
Tacloban City

フィリピン共和国 タクロバン市
タクロバン市長からの手紙

2015年2月26日

岩岡様

タクロバン市の代表としてホープ・フォー・リビング フィリピンを心からお慶び申し上げます。回復期にいたるタクロバンの子どもたちと教会、現地のコミュニティーにとってこの大規模なプロジェクトは大きな助けとなりました。

この10週間のプログラムにおいて、30カ所の教会が毎週数千人の子どもに温かく栄養豊かな食事を与えることで、彼らが決して忘れられておらず、心にかけている人が今もいることを彼らに証明することができました。さらに新生宣教団からは各教会が周囲のコミュニティーに伝道するためのマンガ聖書の小冊子やスタディ・ガイド、聖書の提供もありました。

その結果、回復途上にある各教会が周囲のコミュニティーに目を向け、祝福を与えることができました。また、台風ハイエンで失われた物資の代わりとなる印刷物が人々に与えられました。

喜びを持って成功を遂げた新生宣教団のプロジェクトをお祝いいたします。新生宣教団の寛大さに大変感謝すると共に、次に行われるタクロバンでのプロジェクトに期待します。

タクロバン市長
アルフレッド・S・ロマオルデズ



Republic of the Philippines
City of Tacloban

OFFICE OF THE SANGGUNIANG PANLUNGSOD

February 20, 2015

TO WHOM IT MAY CONCERN:

On behalf of the City of Tacloban, I wish to congratulate New Life Ministries in the successful completion of its HOPE for LIVING Philippines project. This ambitious project was a great help to the children, churches, and local communities of Tacloban, and we are truly grateful for your support during such a crucial time, filling a need that was not yet being met.

During the 10 week program, 30 churches provided a weekly, nutritious, hot meal to a few thousand children, demonstrating to them that they are not forgotten and somebody truly cares about them. New Life Ministries supplied manga booklets, study guides and Bibles for each church for community engagement and discipleship.

As a result, 30 recovering churches reached out and blessed their local communities and were provided with printed materials to help replace what was lost in Typhoon Yolanda. The support of the City of Tacloban will continue to further support their own communities.

With great pleasure I congratulate New Life Ministries for their well done, thank them for their generosity, and look forward to their next project in Tacloban.

Sincerely,


Hon. Jerry "Sambo" Yaokasin
Vice Mayor
Tacloban City

フィリピン共和国 タクロバン市
副市長からの手紙

2015年2月20日

関係者各位

タクロバン市の副市長として、新生宣教団のホープ・フォー・リビング フィリピンの成功とプロジェクトの完了をお慶び申し上げます。大規模なプロジェクトは重要な回復期にあるタクロバンの子どもたちや教会、地域のコミュニティーの大きな助けとなりました。

大きな満足と共に、新生宣教団の成し遂げた働きに感謝申し上げます。また、今後のさらなるお働きの発展に期待しております。

タクロバン市副市長
ジェリー・サンボ・ヤオカシン

台風ハイエン

T Y P H O O N
H A I Y A N

台風ハイエン:フィリピン政府が 国家災害を宣言する

2013年11月12日-BBC News

Typhoon Haiyan: Philippines
declares state of calamity

BBC News, 12 Nov 2013

超大型台風「ハイエン」

フィリピン上陸

2013年11月8日-Reuters

Super typhoon Haiyan
slams into Philippines

Reuters Nov 8, 2013

セブ島の3つの町が 孤立状態

2013年11月9日-Rappler.com

Bantayan Island, 3 Cebu towns
completely isolated

rappler.com Nov 09, 2013

台風ハイエンによる 巨大な風と波

2013年11月8日-Rappler.com

Yolanda brings monster winds, giant waves
rappler.com Nov 08, 2013

世界最大級の台風が
フィリピンを直撃

2013年11月9日-inquirer.net

*One of world's strongest
typhoons lashes Philippines*

inquirer.net 09 Nov 2013

史上最も強力な台風の 하나가 フィリピン中部を直撃

2013年11月8日-CNN

*Super Typhoon Haiyan, one of
strongest storms ever, hits
central Philippines*

CNN November 8, 2013

タクロバン市の半分以上がいまだに停電中

2014年1月8日-Rappler.com

More than half of Tacloban City still without power
rappler.com Jan 08, 2014



タクロバンに神のみことばを

11月8日、台風ハイエンが上陸し、タクロバン市全体を破壊しました。人々や教会は心身共に支援が必要な、深刻な状況に置かれていました。新生宣教団の「みことばを世界へ」というミッションがまさにタクロバンの人々に必要な時でした。関連団体や現地の教会、政府の協力という大きな備えと計画によってホープ・フォー・リビング フィリピンは実施され、タクロバンへ希望と癒しを与えることができました。



Disaster



◀ 2013年11月8日

台風ハイエン上陸

サマル島東海岸に台風ハイエンが上陸。最大風速235km/時を観測。

◀ 11月17日

被害状況

想定被害総額103.99億ペソ。死者が3,976人、行方不明が1,590人と記録される。タクロバンで協力関係のあるビクトリー・タクロバン教会と連絡を取り、教会としての必要を調査。

◀ 2014年2月

第1期物資供給

タクロバンの協力教会へマンガと支援物資の第1期発送を行う。

◀ 4月

現地調査

新生宣教団スタッフがタクロバンを訪問、現地調査を行う。試みとしてマンガの配布と2回の食事提供を行う。5人の若者が救いに導かれ、さらに1つの教会が食事提供を続けるという非常に良い結果を得る。



Preparation

◀ 7月

現地の教会と政府とのパートナーシップ

2回目の現地訪問で新生宣教団とプログラムを実行する30教会の間で公式な協力関係が結ばれる。プログラム施行式がタクロバンの副市長とタクロバン宣教協力会 (TEAM-C) の責任者であるラミRez牧師らの出席のもと開かれる。



◀ 9月

みことばの発送

現地で使われる福音文書や教材が新生宣教団からタクロバンへ送られる。発送式には在日フィリピン大使館のアスケ・ギルバート氏も列席。関連の教会と団体、物資のために祈り、文書が発送される。



◀ 10月

プログラムの開始

10週間の食事提供と伝道のプログラムが開始される。プロジェクトの開始と教会への物資配布のために新生宣教団スタッフがタクロバンを訪問する。



◀ 10月—12月

霊と肉両方の必要を満たす10週間のプログラム、ホープ・フォー・リビング フィリピンがタクロバンの30教会において実施される。



◀ 12月

クリスマスに聖書

プログラムの終わりにお祝いとして聖書が配布される。10週間の食事支援と伝道のプログラムが終了する。

◀ 2015年1月



プログラムの調査

プログラムの結果を検証するためスタッフがタクロバンを訪問。数多くの救いの証し、教会とコミュニティーの関係作り、家族関係の回復など教会成長にまつわる証しが集められる。(後半に続く「希望のストーリー」をご覧ください。)



It happened on...

November 8, 2013

TYPHOON
HAIYAN

タクロバンの
被災した子どもたちの救済



タクロバンを襲った台風ハイエンで被害を受けた人々は、それまで経験したことのない状況にいました。6,000人以上の兄弟姉妹が命を失い、それ以上の人が家を失い、政府が補助する仮設住宅で過ごしています。教会もとても大きな被害を受けました。聖書を含め生活物資を失い、霊・肉共に大きな支援を受ける必要がありました。

プロジェクト計画



30
参加教会



40000
被災した子どもたち
心身のケア、希望の必要性

新生宣教団は10週間にわたる伝道プログラムを計画しました。このプログラムを通して教会が周辺のコミュニティーに教材や食事の提供をしました。現地30教会で実施し、各教会が120人以上の子どもに毎週伝道することを目標としました。その結果、子どもたちに福音を伝え、食事を提供することでその家族にも力を与えることができました。

実施方法



毎週のプログラムには「ザ・メサイア」、「ザ・メサイア・スタディー・ガイド」、「マンガ・ストーリー・ブック」が用いられました。食事は温かい、滋養のあるものが提供されました。プログラム終了時には、お祝いとして子どもたちに聖書を渡しました。プログラムを実施した30教会はタクロバン宣教協力会 (TEAM-C) に属しています。



福音文書



送られた数
8,750冊

ザ・メサイア (7-15歳向け)

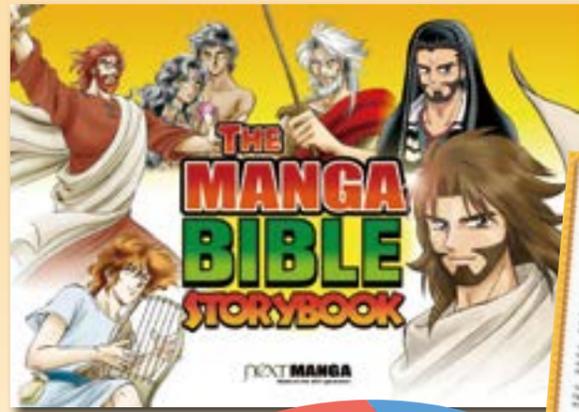
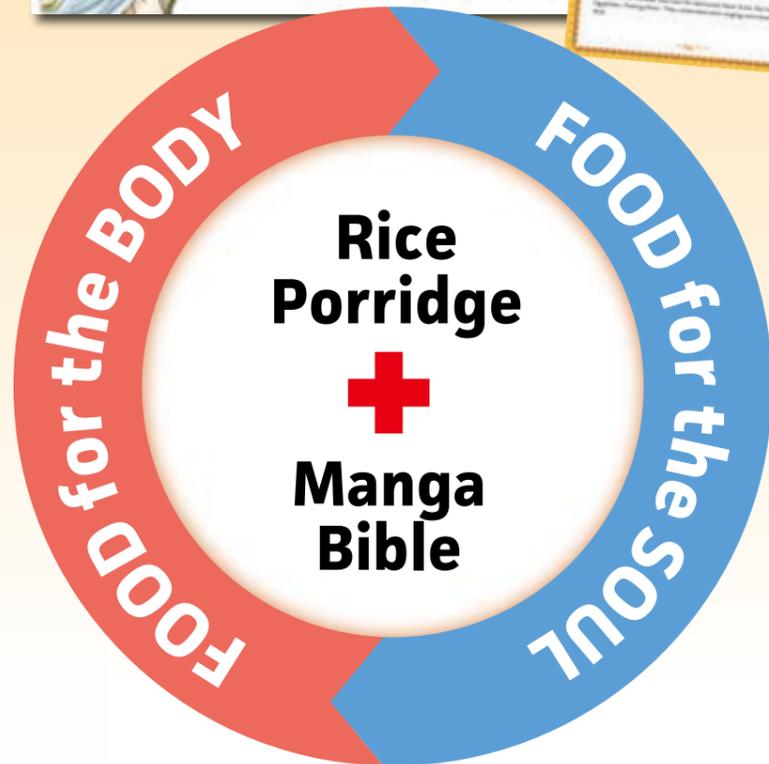
子どもにわかりやすく、興味を持たせるものとして、イエスの誕生から死と復活をまでを聖書に忠実に描いた64頁のマンガ小冊子。

食事提供



「アロス・カルド」
温かい栄養豊富な食事

20,216食を提供



送られた数
1,400冊

マンガ・バイブル・ストーリーブック (2-6歳向け)

年少の子どもに正確に聖書を伝えたい、という要望に応じて重要な16のストーリーを取り上げ作られた教材。応用問題、暗唱聖句、教師用のノート付き。

送られた数
3,449冊

聖書

10週間のプログラムの終わりに子どもたちが神様との歩み続けるための励ましとなるよう、聖書をクリスマスの特別なギフトとして配布。



送られた数
4,200冊

ザ・メサイア・スタディー・ガイド (7-15歳向け)

「ザ・メサイア」の福音をより深く学ぶための補助教材。6つのパートに分かれており、それぞれ家庭での学習が継続できるワークブック付き。



30教会のプロフィール*

*30教会はTEAM-C構成教会です。

- アライアンス・コミュニティー・センター アライアンス** 104
 教会を建て上げる働きを担ってくださりありがとうございました！
- エターナルライフ・ミニストリーズ・クリスチャン・フェロースhip/フル・ゴスペル** 15
 新生宣教団と共に神様の救いの働きの役目を担うことができ感謝しています。
- バーニング・プッシュ・チャーチ 単立** 99
 食事提供が終わっても、子どもたちはイエス様のことをもっと知るため、プログラムを続けることにしました。
- グラッド・タイディングス・フェロースhip 単立** 52
 プログラムのおかげで毎週喜んで奉仕してくれるボランティアが10人も増えました！
- C.H.R.I.S.T. バプテスト・チャーチ バプテスト** 102
 このプログラムが始まる前から子どもたちは聖書を欲しがっていたので、プログラムで聖書を手にする事ができ、とても喜んでます。
- ジーザス・ザ・リビング・ゴスペル 単立** 58
 全ての子どもがイエス様を彼らの救い主として受け入れました。
- クライスト・イズ・キング・ミッション・フェロースhip/フル・ゴスペル** 120
 「ザ・メサイア」を通して、子どもたちは神様に愛されていることを学びました。
- ラム・オブ・ゴッド・チャーチ 単立** 132
 23人がイエス様を受け入れる祈りをささげました。
- クライスト・グリーン・パスチャーズ 単立** 106
 神様と支援者の方々に感謝をささげます。これを機に新しい日曜学校が私たちのボランティアによって始められました。
- ライト・オブ・ゴッズ・グローリー・チャーチ/単立** 120
 時が経つにつれ子どもたちがますますみことばを欲するようになりました。
- チャーチ・オブ・ザ・ナザレ ナザレ** 110
 このプログラムによって子どもたちはイエスが神であることを理解しました。
- リビング・ロック・ミニストリーズ 単立** 115
 何人かの子は自分たちがすでに学んだことを他の子に教えるようになりました。
- チャーチ・オブ・ザ・オープン・ドア・インターナショナル/単立バプテスト** 120
 35人の子どもがイエス・キリストを救い主として受け入れました。
- ニューライフ・ゴスペル・チャーチ フルゴスペル** 33
 子どもたちは大変積極的にレッスンに興味を持って取り組んでいました。
- イースタン・ヴィサヤズ・リビング・ワールド・ミニストリーズ/アッセンブリー** 68
 このとても分かりやすい「ザ・メサイア」を通して福音が学べるチャンスに子どもたちも喜んでます。
- タクロバン・エヴァンジェリカル・アライアンス/アッセンブリー** 127
 子どもたち全員がイエス様のことを理解しました。皆でイエス様を心の中に受け入れるよう祈りました。

- タクロバン・ファミリー・チャーチ・オブ・ヤーウエ /単立** 116
 子どもたちは本当の意味でのキリスト信仰を理解し、生活を通して他の人にイエス様がどのような方であるかを示したいと思っています。
- ティグバオ・アッセンブリーズ・オブ・ゴッド/アッセンブリー** 88
 年少の子どもでも、なぜイエスが地上に来られ苦しまなければならなかったのか理解できました。
- ゴッズ・グローリー・ミニストリーズ 単立** 35
 子どもたちは「ザ・メサイア」に非常に感謝し、励まされています。
- タクロバン・フォースクエア・ゴスペル・チャーチ/フォースクエア** 95
 全ての子どもたちがイエス様を救い主として受け入れました。1人の子はレッスンの後に涙を流していました。子どもたちが真剣に取り組んでいる姿を見ることは祝福です。
- ベイシー・フル・ゴスペル・アッセンブリー /アッセンブリー** 40
 ホープ・フォー・リビング フィリピンに感謝しています。神様が皆様に豊かに祝福されますように！
- ゴールデン・ハーベスト・クリスチャン 単立** 106
 3人の子どもがイエス様を受け入れ、彼のこともっと知りたいと思っています！
- タクロバン・フル・ゴスペル・アッセンブリー /アッセンブリー** 143
 皆様の働きのおかげで全ての子どもを生き返らせることができました。また親にも影響が及びました！
- チャネルス・オブ・ブレッシングス フルゴスペル** 67
 教材の、特にマンガの絵に子どもたちはとても興奮喜びました！
- リディー・ド・チャーチ・オブ・ゴッド チャーチ・オブ・ゴッド** 85
 与えられた食事は子どもたちの大きな助けとなり、両親も心を開きました。マンガと食事をありがとうございました。
- タクロバン・ユニテッド・ファミリー・クリスチャン・チャーチ/単立バプテスト** 53
 「ザ・メサイア」は神様に仕える私たちのことも成長させてくれました。子どもたちの兄や姉になることができ、とても嬉しかったです。共に学んで、笑って、互いに愛を分かち合いました。
- チャーチ・オブ・ゴッド・アクツ20:28 チャーチ・オブ・ゴッド** 55
 マンガの聖書はパーフェクトな視覚教材です。
- ビクトリー・タクロバン エブリネーション** *適応外
 プログラム参加希望者が多い一方、資金が不足していたため文書配布のみ参加しました。
- ザ・ロック・インターナショナル アッセンブリー** 64
 「ザ・メサイア」は子どもたちを教えるのにとても良いツールです。読みやすく、面白くてわくわくさせられます！
- エターナル・ライフ・ミニストリーズ・インターナショナル/単立** 56
 子どもたちに続けて教えてもかまわないか両親に尋ねたら、「はい!」と答えくださり、私たちもとても喜びました。

- 教会名/教団**
- 子どもの最大参加人数**
- 教会からのコメント**

Philippines



Tacloban City タクロバン市

レイテ島の東海岸にあるタクロバンは東ビサヤ地方の首都で、人口は22万1,174人。2010年の国勢調査によると、タクロバンはフィリピンの中でも都市競争力では十指に入っており、経済的にも中心的な役割を果たしていました。台風ハイエンはタクロバン市だけでなく、レイテ島の他の地域にも影響を及ぼし、被害はフィリピンの中部にまで達しました。タクロバンの地政学的要因とすでに確立されていた現地との協力関係により、プログラムは最大の効果を発揮することができました。



タクロバン・エヴァンジェリカル・アソシエーション・オブ・ミニスターズ・アンド・チャーチズ

Tacloban Evangelical Association of Ministers and Churches

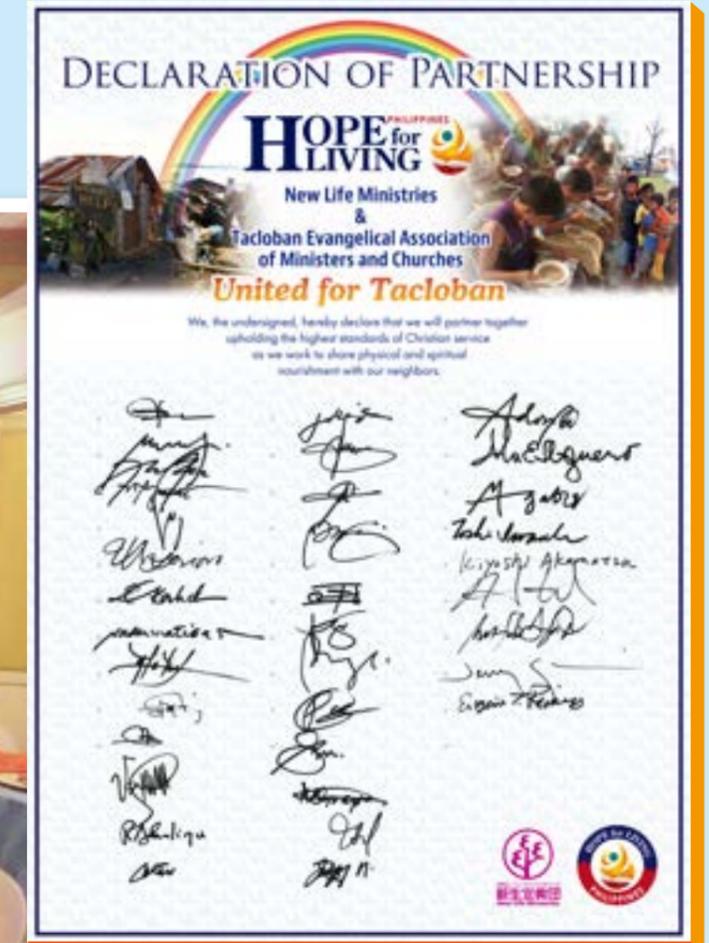
先生やスタッフの方々、新生宣教団のメンバーで行ったプロジェクト立ち上げ式：2014年7月2日タクロバンにおいて



ユースボランティア



現地コーディネーター
 プレス・マニユエル・ハビアー
 新生宣教団とTEAM-Cの橋渡し役



協力宣言書

参加教会の牧師やタクロバン副市長、新生宣教団のメンバーそれぞれがサインした協力宣言書



行政からの推奨



タクロバン市長アルフレッド・S・ロマオロデス氏と面会する新生宣教団メンバー



タクロバン副市長ジェリー・T・ヤオカシン氏からの推薦の言葉



New Life Ministries



プロジェクトの重要性と
必要性について報告



タクロバンの状況について新生宣教団内で報告会を設け、
プロジェクトのために最良の制作物を提供できるよう祈りました。

在日フィリピン大使館からの推薦



アロス・カルドの試食会



プロジェクトのためのプロモーション

福音文書の制作



打ち合わせ



数値的な結果

LOOKING AT THE NUMBERS



30	プログラムに参加した教会数
2,482	週あたりの最大出席者数
168	教会への最大出席者数
827	プログラムに助けられた家族の数 (推定)
3,449	送られた聖書の数
8,750	送られた「ザ・メサイア」の数
1,400	送られた「マンガ・ストーリー・ブック」の数
50,400	送られた「スタディー・ガイド」の数
20,216	提供された食事の数

収入と支出報告
2015年1月31日まで

	単位 (JPY)
献金額	7,299,008
支出	
印刷代	3,000,000
食材費	1,800,000
管理費	1,465,837
輸送費	509,836
調査費	523,335
出費総額	7,299,008
繰り越し	0



働きの実り - 2015年1月時点

THE FRUITS OF OUR LABOR
As of January 2015

388
子どもの
救いの祈り



1
新しい
日曜学校の発足



4
新しい若者向け
集会の発足

110 新規個人
支援者の
献金

3
食事提供の
継続



1
新しい教会の
開拓

47 新規
支援教会の
献金

47 新規
支援教会の
献金

3
食事提供の
継続



1
新しい教会の
開拓





HOPE PHILIPPINES for LIVING



PROJECT REPORT
プロジェクト・レポート

STORIES OF HOPE
希望のストーリー



教会への備え
Equipping Churches

個人の変革
Transforming Individuals

コミュニティの変化
Changing Communities

新境地へ

神様の大きな働きによって開拓された 新たな教会

「初めてホープ・フォー・リビング フィリピンについて聞いた時には、私たちのミニストリーに役立つのが疑問に思っていました。特に福音文書をどのように伝道に使うことができるのか気になっていました。他にも支援を約束してくれた団体はありましたが、それが果たされることはありませんでした。それでも神様を信頼していました。

プロジェクトの開始後間もなく教材が届き、とても嬉しかったです。日曜学校の教師やボランティアもこの教材がとても有用だということに気がきました。私たちのミニストリーは教育に力を入れていますが、教材が足りなかったのです。今は神様からとても良い教材が与えられました。マンガという表現は子どもたちにとっても効果があります。見た目興味を引くことができ、文字を読めない子どもにもストーリーが理解できます。その結果、子どもたちは励ましを受けながらプログラムに出席し、イエス様のことをより深く学ぶことができました。また、



マービン・コーテズ牧師

プロジェクトがきっかけとなり、 新しい教会が 建て上げられました。

良い『問題』も起きました。教会の施設は小さすぎたので5カ所に分けて集まりを持たなければなりません。ある集まりでは20人の大人が聖書の学びに興味を持ったので、彼らのためのバイブル・スタディー・グループを立ち上げたところ、子どもたちもそれに参加していたのです！ 私は子どもたちに言いました。『これは大人のためです。あなたたちにも特別な集まりがあるでしょう？』その後も子どもたちは部屋の外からのぞき見てはバイブル・スタディーの話聞いていました」

子どもたちのためだけであったプロジェクトはその後も大きく進展しました。この20人のバイブル・スタディー・グループはさらに拡大し、マービン牧師に新しい教会を建て上げられないか働きかけたのです！ 牧師は彼らの願いを聞き入れましたが、1つ問題がありました。それは教会として使える場所がないことでした。そのような折、ある年配のご夫婦が彼らの家を開放してくれたのです。

プロジェクトがきっかけとなり、新しい教会が建て上げられました。神様の恵みに感謝しつつ、この教会の成長を見るのを楽しみにしています。



自らの家を教会のために解放したご夫妻



期待を超えて

数多くの救いの証し、
新たな日曜学校の始まりという
期待を超える結果を得た教会



日曜学校で教えるクレア師の姉妹

ホープ・フォー・リビング
フィリピンこそ
彼女の教会が必要としていた
ものでした。



マンガ・バイブル・ストーリーブックの話に聞き入る日曜学校の子どもたち

ク ライスト・グリーン・パステーズ教会のクレア副牧師はこう語りました。「災害の直後はあまりにも暗かったので世界の終わりが来たと思いました。家は流され、本当に絶望的でした。皆が恐怖と悲しみでいっぱいでした。人々は泣き、とても不安な気持ちで過ごしていました」。彼女らはこの災害の前から、日常的に使えるような教材は持っておらず、あるものを利用していたので、ミニストリーを行うことに難しさを感じていました。心が傷つき、壊れてしまったコミュニティを助けたいという気持ちはありましたが、彼女らには何もなかったのです。

ホープ・フォー・リビング フィリピンこそ彼女の教会が必要としていたものでした。「プログラムの教材で私たちは祝福を受けました。今、日曜学校の教師たちに心配はありません！

プログラムには食事提供もあると聞いた私たちは非常に喜び、地域にある全戸を訪問して子どもたちに声をかけました」

プログラムは大成功でした。「最初の週に70人がイエス様を救い主として受け入れました。それは私たちにとって大きな祝福であり、今でも共にフェローシップを続けている人もいます」

週平均70人の子どもが出席し、最も多い週には120人が参加しました。

親も子どもたちが安全で栄養豊かな食事が与えられると知り、週1回の食事提供が多くの家族にとっても大きな祝福となりま

した。「まったく資源のない中で、プログラムの食事提供によって子どもが肉体的にも霊的にも健康であることができました」とクレア師は教会が祝福された様子を語りました。

「ザ・メサイア」は子どもたちに受け入れられ、すぐに一番人気のある教材となりました。以前の日曜学校では、子どもたちは集中できず部屋中を走り回っていましたが、プログラムの効果で教会が良い方向へ向かうようになりました。「神様はこのプログラムを通して大きく働いてくださいました。子どもたちはマンガを読んでからトラウマがなくなりました。初めて参加した時、子どもたちは恐れでじっとしていましたが、今は他の子ども同士で良く交わり、授業中も積極的に手を上げてくれます」

プログラム終了後間もなくしてクレア師は言いました。「私たちは支援して下さった方々にこれからも変わらずに感謝し続けます。これがきっかけでボランティアの方々が行う新しい日曜学校を開くことができました！ この日曜学校には幼稚園児と小学生対象のグループがあります。彼らは今もマンガを使っています。皆さんが持っている子どもに対する情熱を引き継ぎ、続けています。皆様に神様の祝福がありますように！」

心の回復

ある牧師夫人の証し——

神様は確かにマンガを通して子どもたちの人生に働かれています



子どもたちはそれぞれ自分のマンガを持っています

タクロバン・フル・ゴスペル・アッセンブリー・インターナショナル教会のロプレシア牧師夫人は「ザ・メサイア」がどれほど教会の中で大きく影響したか証言しました。2つの回復が同時進行していました。1つは教会の屋根の修理、もう1つは神様がなさっていた子どもたちの心の癒しでした。

彼女はこう語りました。「子どもたちは『ザ・メサイア』を読むことが大好きだと分かりました。カラフルで、マンガは子どもたちの興味を引きます。マンガを読みながら神様に近づき、神様のことをよりたくさん知ることができました。英語が分からなくても子どもたちは絵を通して話を理解しました。マンガが功を奏しました。

子どもたちはマンガを家に持って帰るほど好きでした。家で読んで教会にまた持ってきます。多くの両親がこの小冊子を読

100人以上の子どもと その親がイエス・キリストを 彼らの救い主として 受け入れました！

んでいることにも気づきました！

私たちの教会がたくさん子どもや彼らの両親、またコミュニティーの人々に神様を知らせるため、ホープ・フォー・リビング フィリピンが用いられました。100人以上の子どもとその親がイエス・キリストを彼らの救い主として受け入れました！」

伝道に燃やされる

ある若きボランティアの気づき



今、私は友に神様のみことば を伝えています

届いた教材によって子どもたちに教えることが楽になりました。彼らはマンガを見た途端、大興奮でした！ 全部読んでもまた最初から読みたがりました。スタディー・ガイドには読むべきページの指定があったのですが、彼らはマンガを最初から最後まで全て読みたかったのです！」

この興奮はすぐ広まりました。「以前は10人しか日曜学校にいなかったのですが、今は30人以上の子どもと12人のティーンエージャーがいます！ 近辺で伝道プログラムも始めました。始めたころはだれも来なかったのですが、今は50人以上の子どもが集まっています！ このうち20人が続けて日曜学校に通っています」

このプロジェクトで多くの良い変化が起きました。「以前の日曜学校では子どもたちは退屈し授業中もとてもうるさかったのが、プログラムを始めたとき行儀良くなりました。また、リーダーたちの団結も強くなり、子どもたちも協力するようになりました」。ソフィアはさらに続けました。「台風で母親を失ったある家族は、台風以来教会に来なくなりました。でも、このプログラムを始めると、子どもたちが教会に再び通い始めるようになりました。子どもたちは父親にも呼びかけ、彼も教会に来るようになりました」

ソフィアの心にも変化が起こっていました。「今、私は友に神様のみことばを伝えています」

「ハイエンによって、死がとても現実的になりました……。私の最も親しかった友人が亡くなったのです」。彼女の目には涙があふれていました。「私は彼女にみことばを伝えていませんでした」

ソフィアは牧師の娘であり、教会で6年間奉仕していましたが、台風ハイエンで彼女の世界は一変しました。一番親しかった友人を亡くしたことで心に傷を負いました。しかし、ホープ・フォー・リビング フィリピンが彼女や他の人々の心に新しい人生と希望を与えたのです。

「子どもたちへの支援として新生宣教団が教材を送ってくると知った時、私は引き付けられました。台風で全ての教材を失いました。日曜学校の教材は全て破棄するしかなかったのです」

台風の後、日曜学校で教えるにはチャレンジが伴いました。聖書はたった1冊しか残されていませんでした。「たった1冊の聖書で物事を説明しなければなりません。絵もなく子どもたちには退屈で、フラストレーションをためていました。そのような時に新生宣教団が私たちを助けてくれると聞き、とても喜びました。

ミニストリーをカづける ある若きボランティアの気付き

ホープ・フォー・リビング フィリピンは子どもたちを支援するために企画されましたが、神様はこれを通して大人やボランティアにも働かれました。

プログラムを聞いた時、クライスト・イズ・キング・ミッション・フェローシップの日曜学校教師、ルッフアさんは食事提供では混乱が起きるだろうと思いました。しかし、実際にはとても整然と機能し「ボランティアは多くの方々に良い影響を与えました。また、食事はコミュニティの問題である栄養不良の改善にもつながりました。小さなことですが食事により周りを助けることができました。たった1週間に1度の食事でしたが、彼らの負担を減らし、子どもたちに喜びを与えました。私たちはボランティアが外部にも手を差し伸べることができるよう祈っていたので、祈りが聞かれて感謝しています！ 神様の備えには驚かされます。プロジェクトで経験したことは私に大きな影響を与えました。子どもたちをどう扱うか、どのように彼らの状況に寄り添うかを学びました」

教会のベン牧師は「このプロジェクトで子どもたちは聖書の知識や主イエスのこと、また、どのように祈ればよいかを学ぶことができました。周囲のコミュニティの子どもも通い始め、親に従うことやその他、道徳的な学びもできました」と話しました。

プロジェクトはベン師と教会が再び起動するために必要なものを備えました。礼拝が行われない時期があったほどで、子どものイベントは全て中止となっていました。毎週の食事と福音が与えられ、彼らは必要以上に満たされていることに気づいた



ので近くにあるセル・グループとも物資を分かち合いました。子どものミニストリーも再開されました。「日曜学校で『ザ・メサイア』を使うようになってから出席者数が70人ほどに増え、最大で約100人の子どもが来ました。この中の何人かはイエス様を彼らの救い主と受け入れ、他の子どもも日曜学校に続けて通っています」

プログラムに関わった先生方やボランティアがプロジェクトを通してカづけられ、励まされたことがはっきりとわかります。パデン牧師はこう言いました。「プロジェクトに私たちはとても感謝しています。多くの子どもたちが現在教会に通い、彼らはここが居所だと感じています。『ザ・メサイア』を携えた子どもたちをボランティアが教えています。ありがとうございました」

プログラムにかかわった先生やボランティアがプロジェクトを通してカづけられ、励まされたことがはっきりとわかります

プログラムに参加したベン牧師（下）とボランティア、子どもたち。



母親への支援

子どもたちの霊的な成長を語る

ク ライスト・バプテスト教会に通うマリエルさんには2人の子供がおり、今回のプログラムに参加しました。「子どもたちが『ザ・メサイア』を喜んだので、大変感謝しています。ストーリーを絵で見ることをとても楽しみました。また、イエス様がどのような方であるかが初めて分かりました。『ザ・メサイア』を読むまではイエス様がどのような方であるのか知らず、聖書が何を語っているのかも理解できませんでした。それが、マンガを読むととても興奮して、もっと知りたいという気持ちが増したようです。

このマンガが続けて使われることを願います。聖書を学ぶだけでなく、英語の勉強にもなりました。聖書を使って私が教え

ようとしても文字だけでは難しく、一方マンガであれば分かりやすい。文字を読んで、絵を見て、その場面を感じ取ることができます。

また、このマンガによって私の子どもたちはどのように祈るかを知りました。聖書のことも理解できました。マンガのおかげで子どもたちは『イエスは？ ダビデ王のことももっと教えて』と言ってくるのです。イエス様の時代に人々がどのように生きたのか、今彼らは理解しています。マンガは私にとって大きな助けでした」

**マンガのおかげで
子どもたちは
聖書がわかるよう
になりました。**



家族の一致

神様を中心に 心が一つになった家族



母 親は子どもに大きな関心を持っています。ある方がホープ・フォー・リビング フィリピンが家族に与えた影響について語りました。「我が家はクリスチャン・ホームでしたが、1人の子がクリスチャンになりたがらなかったのです。そのような時、牧師からもらった『ザ・メサイア』が私たちの大きな助けとなりました。この本は息子に変化を与えるために用いられ、彼に大きな影響を及ぼしました！

今は家族全員がクリスチャンです。子どもたちは教会で教師として奉仕をし、福音を宣べ伝えています。神様が私たちの中心です。過去にあった家族間のもめ事はもうありません。私たちの心や考えに神様の臨在があると、たちまち私たちの人生が大きく変わります。神様のメッセージが私の家族に大きなインパクトを与えたのです」

**『ザ・メサイア』
は息子に変化を
与えるために用いられ、
彼に大きな影響を
及ぼしました！**

変化した視点

子どもとボランティアの心を変えたマンガ



ウェンディーのプログラムにおけるボランティア活動は、彼女に大きなインパクトを与えました。「素晴らしい経験でした。このプログラムを通して神様が人間の心を変えられるのを見たからです。子どもたちがイエス様の真理を学び、彼と共に歩み、良い人間に変えられる姿を目の当たりにしました」。彼女が言う通り、彼女の教会では80人の子どもが救いの祈りをささげました！

彼女は続けて語りました。「私にとって大きな驚きはマンガ聖書でした。私たちボランティアには授業計画がなかったので、とても助かりました。この本を中心に進めると楽しいので、子どもたちの集中力が持続しました。『ザ・メサイア』はこのプロジェクトのハイライトでした。質問に答える子どもたちの様子で、彼らが本当に意味を理解していることが分かり

ました。個人で所有できるマンガ聖書をもったことにより聖書をより深く理解する助けとなりました」

彼女は証しを次のように終わらせました。「このプログラムを通してイエス様がどれほど日常に大切で、福音を子どもたちに伝える時に必要な方であるか、再確認しました。これは個人的にも大きなことでした。子どもに福音を分かち合うことがいかに必要なことが分かりました。彼らが福音を常に心に蓄えることで、自身の人生が変わられ、他の人や彼らの両親、親戚にも福音を宣べ伝えることができるようになるでしょう」



**このプログラムを通して
イエス様がどれほど
日常に大切で、福音を
子どもたちに伝える時に
必要な方であるか、
再確認しました。**

リーダーシップの成長

青年に勇敢な証人になるよう励しを与えたプロジェクト



バネッサさんと「牧師」の息子

C.H.R.I.S.Tバプテスト教会のバネッサさんは2人の息子がプロジェクトに参加したときのことを話してくれました。「私たちの教会でマンガを受け取ることでの特権に感謝しています。学生たちの大きな助けになりました。このマンガはイエス・キリストがどのような方で、いかに人々の心を変えたかを示しています。

家で話している時、突然下の子、デンマークがこう言うのです。「ママそれは言わない方がいいよ。マンガからそういうことを言わないよう教わったから」と、いつもマンガで学んだことを教えてくれます。

長男は教会のリーダーで、彼の人生にも大きな変化が起こりました。彼は真剣にイエス様に自分の人生をささげる決心をしました。神様がマンガを通して彼に語り、イエス様のことを深く知り、人生を変えなければならないと示しました。

学校でも彼はリーダーです。もし先生が聖書の内容に反する

**彼の行動も変わり
学校で皆のよい模範に
なっています。**

ことを言うと彼は聖書を引用して『でも聖書にはこう書かれています……』と大胆に告げるのです！彼の45人のクラスメートからは、聖書を引用する『牧師』と呼ばれています。学校でも態度で証しをしています。

彼がここで学んだことに、とても感謝しています。私たちの子どもがマンガを通して聖書を学ぶことに安心しています。手を差し伸べてくださった皆さんに感謝しています！彼らは霊的に成長し、その行動も大きく変化しました！

見出された真実 人生の目的を導いた福音文書



エベリタさんの家へは名前もない小道を通らなくてはなりません。見えるのは何本かのココナツの木と大きなベランダのある木造の家だけです。この家がプログラムの集会所となりました。

エベリタさんははっきりと言いました。「私は完璧な人間ではない。時々悪いことをしたり、見たりします。でもプログラムが私を大きく変えました。以前は聖書を持っておらず、みことばは年に数回、教会に行った時に聞く程度でした。今は自分の聖書を持っており、人生の目的もはっきりと分かりました」

福音は彼女の子どもたちも変えました。「『ザ・メサイア』のおかげで子どもたちが神様のことを学ぶことができました。彼らの様子が大きく変化し、このプログラムが始まって以来、彼らの心の変化がその振舞いから見て取れるのです。

集まった子どもの親も聖書の学び会に参加しては、とプログラムに誘いました。子どもだけでなく、今は親もイエス様のことを学んでいます。プログラムに参加し、私の中でも様々な変化がありました。とても感謝しています」



このプログラムの開始以降、
子どもたちの様子が本当に変わりました。

強まる絆 回復した母と子の関係

クライスト・バプテスト・チャーチに通う1人の母親の話です。「長い間、私と娘の間では喧嘩が絶えませんでした。プログラムで彼女は若者のグループに参加しました。マンガを通して学んだおかげで、彼女の争いに対する態度が変わりました。

今はお互い親しみを持つようになり、時には一緒に泣くこともあります。彼女の変化を神様に感謝しています。今は互いに、うまくやっていけるようになりました」

マンガに助けられ、
彼女の争いに対する態度が
変わりました。
娘の変化を神様に
感謝しています。



備えられた支援

被害を受けた家族に
与えられた新たな「命」

子どもたちも栄養のある食事を
摂ることができ、
本当に嬉しいです

10歳のアラベルは両親と6人の兄弟と共にタクロバン市の南方にある家に住んでいます。生活に必要な物資がなかなか手に入れられず、日々の食事にも事欠いていました。アラベルと兄弟たちの笑顔は、現実とはまったく一致していませんでした。

「彼女はよく風邪をひくので特別扱いされています」。アラベルの母、ジェニファーさんは、彼女が兄弟たちの中で一番可愛がられていると言いました。また、「アラベルは学校に通いたがっていますが、私たち家族にはそれに応じられるほどの余裕がありません」と苦しい現状を口にしました。

ホープ・フォー・リビング フィリピンは彼女たちの大きな助けとなりました。毎週無料で食事が提供され、「ザ・メサイア」や「スタディー・ガイド」、また全ての子どもに聖書が配られました。彼らにとってこれは神様からの贈り物だったのです。毎週アラベルと兄弟たちは教会まで歩き、そこで霊と肉の栄養を得ました。

彼らと話すうちに、プログラムによって彼らが変わってきていることに気がきました。アラベルが言いました「教材で一番好きなのは『マンガ・ストーリー・ブック』です。マンガは絵が



あるから綺麗です。イエス様の絵が好きです。可愛い赤ちゃんイエス様の絵もありました」。この教材はアラベルや家族にとって初めての本なのかもしれません。

ジェニファーさんは何度も食事提供を強調しました。「アラベルにとって一番好きだったことは何だと思いますか?」と聞くと、彼女は「食事だと思います。とてもおいしかったそうです」と答えました。「忘れられないアラベルの体験は何だったと思いますか?」との問いには「とても食事を喜び、すごくおいしかったと言っていました」と答えました。

「日々の支出に悩んでいる中での息抜きでした。このプログラムにはとても感謝しています。子どもたちも栄養のある食事を摂ることができ、本当に嬉しいです」

種を蒔く

周りのコミュニティーを助けることによって
神に栄光を帰した男性

「災害が起きた時、私たちには何もできないと考えることがあります。もし私たちに希望がなければ、大きな絶望を味わうでしょう。しかし、私たちは幸いにも、イエス様によってさらに大きな希望が与えられています! 新生宣教団の『ホープ・フォー・リビング フィリピン』はタクロバンの被災者に、祈りと物資を与えました。現地のコミュニティーや教会を通して、彼らは肉体的、霊的な支援を得たのです。タクロバン支援計画における迅速性と行動力に素晴さを感じました。写真や皆さんからの証しを聞き、平安と将来への希望を与える神様に栄光を帰すことができた実感しています」

(プロジェクトの支援者、クレグさん)

灯された光

福音による霊的な闇からの開放——
ある村の証し



子どもたちはマンガで
神様のことを学んでいます。

「ウイズダム・レイン」と名付けられた泥道の終わりに数件の家で構成される村があります。タクロバン郊外の山のふもとと沼地の間にあるこの村に住む老夫婦には、村の子どもたちに福音を伝えたいという思いがありました。「子どもたちはとても無礼だったのです」と夫人が語りました。「私たちはとにかく何かをしたかったのですが、物資が足りませんでした。幸いにも近くに教会があったので、子どもたちのために何かできないか牧師と話しをしました。彼らに神様のことを伝えられたのです」と夫が言いました。

牧師はホープ・フォー・リビング フィリピンを知り、参加を決めました。「ザ・メサイア」や「スタディー・ガイド」、聖書を受け取り、必要が満たされました。

「プロジェクトがこの村にまで及び、非常に感謝しています。子どもたちに良い読み物が与えられ、聖書からたくさんのことを学びました。今までの悪い素行が変わりました。マンガと『スタディー・ガイド』のレッスンを通して、神様のことを学び、小さな子どももマンガのおかげで読むことに興味を持ちました」と夫人が言いました。

夫も続けて語りました。「毎日数分間でもマンガを読むよう勧めています。以前は子どもたちがただここに来るだけで、することを与えられなかったのです。現在その問題は解決され、彼らはここに来てイエス様のことを教わるができるのです。賛美を覚え、神様のみことばを学びます。なぜイエスが地上に来たのか、どのように神に栄光を返す人生を歩めばいいのか、マンガが彼らに教えてくれます。彼らの口から汚い言葉が発せられることもなくなりました」

あるティーンエージャーがマンガの一番好きな部分について話してくれました。彼女はイエスの誕生場面の頁を開いて言いました。「マリアがイエスを産んだ場面です。私の大好きな部分です。キリストの意味は『救い主』です。神様であるイエスが誕生し、彼を『インマヌエル』と名付けます。『インマヌエル』とは神が私たちと共にいるということです」

「ウイズダム・レイン」の突き当りにあるこの小さな村に福音の光が照らされました。

小さな子どもも
マンガのおかげで
読むことに
興味を持ちました



次のステップ The NEXT PHASE

危機の中の Children in
子どもたち CRISIS

マニラとミンダナオ島の
疎外された子どもたちの援助



2015年のホープ・フォー・リビング フィリピンはフィリピンの「危機の中の子どもたち」を対象に実施されます。

このプロジェクトはマニラとミンダナオ島、2つの地域に分けて行われます。マニラでの働きは路上生活をしている子どもたちを対象とし、道徳の授業の主要な教材としてマンガの教材を使います。

ミンダナオ島では先住民の子どもたちにキリスト教の理念を広めるためのボランティアを備えます。これにより長期間続いている内戦の悪影響を防ぎます。

■ 計画



8000
危機の中の子どもたち

今回のプロジェクトは新生宣教団とダイナミック・ティーン・カンパニー (DTC)、フィリピン教育省との協働で行われます。DTCは「ブッシュカート・クラスルーム」(手押し車による路上教室)を通じて学校へ通っていない子どもに教育を施しています。

■ 方法



新生宣教団は「ザ・メサイア」、「スタディー・ガイド」、「ストーリーブック」を提供し、貧困や地域紛争によって疎外された子どもたちを支援します。

■ ご協力をお願いします



詳しくは "<http://www.newlifeministries.jp>" へ

CNN 2009
HERO
Of the Year



CNNヒーロー・オブ・ザ・イヤー受賞
エフレン・ペナフロリダ氏
Partnership

2009年のCNNヒーロー・オブ・ザ・イヤーを受賞したエフレン・ペナフロリダ氏はダイナミック・ティーン・カンパニーの創立メンバーです。彼は教師で、社会福祉士でもあります。危機の中にいる子どもたちに「ブッシュカート・クラスルーム」(手押し車での移動教室)といった独自の方法で教育を施しています。ホープ・フォー・リビング フィリピンの次のステップで彼と共に働けることを特権だと思っています。



ご献金方法のご案内

Give to the next project

クレジットカードで

🔍 新生宣教団 で検索

ご利用になれるクレジットカード



ウェブサイトのクレジットカード決済をご利用ください。

自動引き落としで

振込み手数料無料!

毎月の定期的なご献金に便利です。

詳しくは新生宣教団のウェブサイトをご覧ください。

小切手で

新生宣教団は献金決済をアメリカの宣教団体
GLINTS へ委託団しています。

小切手は下記宛先へお送りください。

New Life Ministries
c/o GLINTS
PO Box 962, Wheaton IL
60187 USA

銀行からのお振込



三菱東京UFJ銀行

銀行名：三菱東京 UFJ 銀行
新座志木(ニザツキ)支店
普通預金：1897554
名義：宗教法人 ニューライフ・ミニストリーズ
シフトコード：BOTKJPJT (国際送金の場合)



ゆうちょ銀行間のWEB送信—ゆうちょダイレクト
送金口座：001003-0759926
加入者名：NLL 海外宣教部

他銀行から ゆうちょ口座へのお振込み
支店名：〇一九(ゼロイチキュウ)
普通預金：0759926
名義：NLL 海外宣教部



ご質問・お問い合わせは宣教部まで

w-mission21@newlifeministries.jp

TEL 049-296-0706

+81-49-296-0706



New Life Ministries

〒350-0303 埼玉県比企郡鳩山町熊井170番地

TEL 049-296-0727 FAX 049-296-6515

E-mail: info@newlifeministries.jp

www.newlifeministries.jp

宗教法人 ニューライフ・ミニストリーズ
新生宣教団
New Life Ministries



宗教法人 ニューライフ ミニストリーズ
新生宣教団
New Life Ministries

New Life Ministries

私たちは文書伝道を主な働きとし、聖書を持つことができない人々にみことばを提供することにより主に仕えています。全ての民が福音で満たされることが私たちのビジョンです。みことばには人々の人生を変える力があると信じています。1959年の創立以来、世界の果てにまでみことばをもたらすため、現在は埼玉県にある印刷工場で、約50名、5カ国からなるスタッフが働きを続けています。これまでに培った印刷技術を駆使し、聖書や福音文書が必要とされている世界へ届けられることを願っています。



宗教法人 ニューライフ ミニストリーズ
新生宣教団
New Life Ministries

New Life Ministries

〒350-0303 埼玉県比企郡鳩山町熊井170番地
TEL 049-296-0727 FAX 049-296-6515
E-mail : info@newlifeministries.jp

www.newlifeministries.jp

Web、SNS はこちらから



Facebook



Twitter



www.facebook.com/NLM.jp



twitter.com/NLM_jp